

鹿児島県支部

鹿児島県における環境マネジメントシステム導入の現状と 経営への活用のための調査研究

昨年の東日本大震災にともなう原発事故による電力不足だけではなく、世界的な資源やエネルギーの不足と環境汚染等を考えた時に、鹿児島県内の中小事業所も環境マネジメントシステムを導入し、事業の環境配慮を促進すると共に環境配慮商品やサービスを産み出せる経営体質に強化することが急務である。環境マネジメントシステムは、事業所の環境保全を進めるだけではなく、経営体質を強化するための有効な経営ツールであるが、必ずしも有効活用されていないのが実態である。

鹿児島県での環境マネジメントシステム導入の現状調査、導入して効果を出している事業所のヒアリング調査を行い、経営に活用する方法について考察・提言した。

第1章 調査研究事業の趣旨とねらい

今回の調査研究の目的、調査方法、調査研究メンバーについて記載した。

第2章 環境マネジメントシステム（EMS）の比較

鹿児島県内では、ISO14001、KES、EA21、鹿児島市環境管理事業所、グリーン経営が普及している。それらの「システムの概要と推進団体」、「システムの構成」、「システム構築と審査」、「特徴」について比較した。

第3章 鹿児島県におけるEMSの現状

EMS取得状況を地区別、業種別に分類した。また事業所統計と絡めたEMS取得状況の比率等から鹿児島県での特徴・課題を浮き彫りにした。

第4章 EMS事業所のヒアリング結果

EMSを導入・活用して、効果を出している中小事業所11社を訪問し、ヒアリングした結果を事業所ごとに紹介した。ヒアリング項目は、以下のようである。

1. 会社概要、2. 環境経営体制、3. 取組目標・管理指標・効果、4. 取組みのきっかけと狙い、5. 経営方針と環境の位置づけ、6. 取組みの結果、評価できる点、7. 環境教育内容、8. 苦心した点及び対策、9. 抱えている課題と今後の取組み方向・計画、10. その他

第5章 EMS事業所のヒアリング結果まとめ

第4章のヒアリング項目ごとに傾向・特徴等をまとめた。

第6章 考察と提言

鹿児島県での特徴、課題に関する考察を行い、「経営に活用する」ために経営者、環境管理責任者、中小企業診断士へ、また「環境まちづくり」のために地方自治体へ提言した。

また「EMS活用による経営体質強化のポイントと留意点」をEMSの調査・検討、構築・導入、基礎づくり、定着、本業への活用の段階ごとに紹介した。